

フィールド2 環境調和

～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

◎地球環境の保全

(単) 省エネ・新エネ設備導入支援事業 (環境部 環境保全課)

5,000 千円 (5,000 千円)

1 事業目的

地球環境への負荷が少ない低炭素社会の実現と、環境意識の高揚を図ることを目的に、自ら居住する住宅へ省エネ・新エネ設備を導入する市民に対し、設置費用の一部を補助する。

2 28年度の事業内容

市内の住宅への省エネ・新エネ設備の設置に対し費用の一部を補助する。

(1) 補助対象者 市内に住所を有し、次の設備を設置する個人

①太陽熱利用システム、②太陽熱高度利用システム、③家庭用燃料電池システム、④家庭用蓄電池システム

(2) 予算額及び補助基準

①300 千円 補助対象経費の5分の1又は50,000円のいずれか低い金額

②300 千円 補助対象経費の5分の1又は100,000円のいずれか低い金額

③1,400 千円 補助対象経費の5分の1又は100,000円のいずれか低い金額

④3,000 千円 補助対象経費の5分の1又は100,000円のいずれか低い金額

3 財源内訳

(1) 県 2,200 千円 (新エネルギー等関連設備導入促進支援事業費補助金)

(2) 一財 2,800 千円

3 主要事業の概要～フィールド2 環境調和～

(施) 環境活動促進費 (環境部 環境保全課)

2, 267 千円 (2,739 千円)

1 事業目的

にはま環境プランを着実に推進するため、市民・事業者・行政協働による環境保全活動を進める。

2 28年度の事業内容

「にはま環境市民会議」への各種環境事業の委託、「新居浜市地球高温化対策地域協議会」によるマイバッグキャンペーン等の各種事業、自然共生事業等の実施のほか、環境保全活動への参加促進等を図るためエコポイント事業を実施する。

・環境活動推進事業	613千円
・新居浜市地球高温化対策地域協議会事業	875千円
・みどりのカーテン事業	154千円
・自然共生事業	28千円
・渦井川流域環境保全活動補助金	100千円
・エコして得するポイント事業	497千円

3 財源内訳

- (1) 繰入金 2,167 千円 (環境保全基金繰入金)
- (2) 一財 100 千円

(施) 自転車のまちづくり推進事業費 (環境部 環境保全課)

380 千円 (470 千円)

1 事業目的

自転車の修理や休憩場所等を提供して自転車利用を支援してくれる事業者を「協力店」として拡大していくことで、自転車の利用環境を向上させ、環境にも健康にもやさしい自転車の利用を促進し、自転車の街にはまの復活を図る。また、サイクリングツアーの開催により、自転車の楽しさや便利さを伝え、自動車から自転車への乗り換えを促す。

2 28年度の事業内容

・自転車利用促進協力店の拡大	313千円
・サイクリングツアーの開催	67千円

3 財源内訳

- (1) 繰入金 380 千円 (環境保全基金繰入金)

◎ごみ減量の推進

(公) 清掃センター施設整備事業 (環境部 環境施設課)

1, 225, 600 千円 (852,536 千円)

1 事業目的

各種機械設備等について、定期点検整備工事や補修工事及び機能検査（法定・自主）を行うことにより、設備の機能低下や故障を未然に防止し、適正かつ安定的なごみ処理を行う。また、老朽化したごみ焼却施設について施設の機能回復と長寿命化を目的とし、基幹的設備改良工事を実施し、平成44年度を目標とした15年間の延命化を図る。

2 事業年度

平成27年度～平成29年度

3 事業概要

- (1) 清掃センター、リサイクルプラザの定期点検整備工事
- (2) 清掃センターの基幹設備改良工事

4 28年度の事業内容

- (1) 工事費（定期点検整備工事、基幹的設備改良工事） 1, 223, 002千円
- (2) 委託料（基幹的設備施工監理） 2, 498千円
- (3) 旅費（工場検査旅費） 100千円

5 財源内訳

- (1) 国 50% 321,890 千円（循環型社会形成推進交付金）
- (2) 市債 90%外 581,100 千円（一般廃棄物処理事業債）
- (3) 一財 322,610 千円

(施) 汚水処理施設共同整備事業費 (環境部 環境施設課) (新規)

10, 200 千円

1 事業目的

公共下水道の普及に伴いし尿・浄化槽汚泥の処理量が減少し、衛生センターの施設が老朽化していることから、公共下水道、し尿・浄化槽汚泥の処理を共同処理することの可能性について具体的な検討を行い、汚水処理全般の効率化を図る。

2 事業年度

平成28年度

3 事業概要

下水道事業である汚水処理施設共同整備事業（MICS事業）の導入に向けた計画設計

4 28年度の事業内容

- (1) 委託料（MICS事業の導入に向けた計画設計業務） 10, 000千円
- (2) 特別旅費（先進地研修） 200千円

5 財源内訳

- (1) 市債 95% 9,600 千円 (単独下水道建設事業債)
- (2) 一財 600 千円

◎下水道施設の整備

(施) **公共下水道事業特別会計繰出金 (環境部 下水道管理課)**

137,385 千円 (99,640 千円)

※以下特別会計ベースの主な事業費

◆**企業会計導入事業費 18,499 千円 (1,336 千円) (環境部 下水道管理課)**

1 事業目的

下水道事業の経営健全化、効率化を図るためには公営企業会計を適用し経営状況の透明性を向上させる必要があるため、総務省から要請されている平成27年度から平成31年度までの5年間の集中取組期間内に、公営企業会計を導入する。

2 事業年度

平成27年度～平成30年度

3 事業概要

- (1) 下水道事業の現有資産等を調査確認し、取得価額、財源等の取りまとめ等を行う。
- (2) 職員の資質向上を図るため派遣研修を行う。

4 28年度の事業内容

- (1) 人件費 2,863千円
- (2) 報償費 (企業会計移行支援業務謝礼) 960千円
- (3) 旅費 (講師旅費・研修旅費)、消耗品費 426千円
- (4) 委託料 (資産調査及び評価業務) 14,040千円
- (5) 負担金補助及び交付金 (研修受講料) 210千円

5 財源内訳

- (1) 市債 100% 18,400 千円 (公営企業会計適用債)
- (2) その他 99 千円 (下水道使用料)

◆管渠等建設事業費 638,000 千円 (678,000 千円) (環境部 下水道建設課)

1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け、公共下水道の主要な幹線管渠の整備を促進することにより、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図るとともに、浸水被害の解消を図る。

2 事業年度

平成28年度

3 事業概要

汚水の面整備として、平成28年度末の普及率が61.7%を目標に整備を進める。

4 28年度の事業内容

(1) 工事費 552,000千円

・ 汚水幹線 A=10.42ha L=2,712m (289,000千円)

岸ノ下汚水幹線、松原汚水枝線外

・ 雨水幹線 A=2.76ha L=482m (263,000千円)

江の口1号雨水幹線、宇高東雨水枝線外

(2) 委託料 (実施設計委託) 60,000千円

(3) 事務費 26,000千円

5 財源内訳

(1) 国 50% 306,000千円 (社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金)

(2) 市債 90%外 300,100千円 (管渠等建設事業債)

(3) その他 17,000千円 (受益者負担金等)

(4) 一財 14,900千円

◆単独下水道事業費 1,017,600 千円 (866,000 千円) (環境部 下水道建設課)

1 事業目的

公共下水道の汚水及び雨水の面整備を促進することにより、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図るとともに、浸水被害の解消を図る。

2 事業年度

平成28年度

3 事業概要

汚水の面整備として、平成28年度末の普及率が61.7%を目標に整備を進める。

4 28年度の事業内容

(1) 工事費 655,600千円

・ 汚水整備 A=19.55ha L=4,630m 316,700千円

・ 雨水整備 A= 4.93ha L=1,470m 210,000千円

・ 川西汚水幹線移設工事費 126,900千円

・ 汚水樹 (区域外) 及び付帯施設整備 2,000千円

(2) 用地費 (喜光地雨水幹線整備に伴う用地費等) 23,100千円

(3) 補償費 (新居浜市上水道移設等) 154,500千円

3 主要事業の概要～フィールド2 環境調和～

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| (4) 委託料 | 136,800千円 |
| ・実施設計委託及び現場技術業務委託 (113,200千円) | |
| ・事業計画変更業務委託等 (23,600千円) | |
| (5) 事務費 | 47,600千円 |

5 財源内訳

- | | |
|------------|------------------------|
| (1) 市債 95% | 942,400千円 (単独下水道建設事業債) |
| (2) その他 | 20,400千円 (受益者負担金等) |
| (3) 一財 | 54,800千円 |

◆管渠等改築事業 50,600千円 (46,600千円) (環境部 下水道建設課)

1 事業目的

重要な幹線等のうち、処理場に直結する川西污水幹線を含め、耐震基準を満たさないものについて耐震化を行い、防災・減災を図る。また老朽化する管渠施設等を計画的に改築更新できるように、施設のデータベース化を行う。

2 事業年度

平成28年度

3 28年度の事業内容

- | | |
|------------------------|----------|
| (1) 工事費 (川西污水幹線外耐震化工事) | 34,000千円 |
| (2) 委託料 | 16,600千円 |
| ・管渠耐震化詳細設計委託 | 10,000千円 |
| ・データベース構築 L=10km | 6,600千円 |

4 財源内訳

- | | |
|------------|---------------------|
| (1) 国 50% | 25,300千円 (防災・安全交付金) |
| (2) 市債 90% | 19,800千円 (管渠等建設事業債) |
| (3) 一財 | 5,500千円 |

(単) 一般下水路整備事業 (環境部 下水道建設課)

110,000千円 (90,000千円)

1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け、市管理河川及び排水路の整備を推進することにより、生活環境の改善及び水質保全を図るとともに、浸水被害の解消を図る。

2 事業年度

平成28年度

3 28年度の事業内容

- | | |
|----------------------------------|----------|
| (1) 工事費 (萩生排水路改良工事外8件 L=約805m) | 70,000千円 |
| (2) 委託料 (小女郎谷川外測量設計業務、排水路等清掃等委託) | 18,500千円 |
| (3) 補償費 (上水道、電柱電線類移設補償) | 10,500千円 |
| (4) 施設修繕料 (河川、排水路等の修繕) | 8,500千円 |
| (5) 事務費 | 2,500千円 |